

優秀賞

# 『みはらしだいの家』街の中でひととき「低い」半平屋のおうち

施工者：岡庭建設株式会社 代表取締役 岡庭 伸行  
 応募者  
 設計者：岡庭建設株式会社一級建築士事務所 池田 浩和 芹沢 佳代

建物概要 建築面積 66.27 m<sup>2</sup>  
 延べ面積 100.19 m<sup>2</sup> ( 1階 60.45 m<sup>2</sup> 2階 39.74 m<sup>2</sup> )

## 設計趣旨

街の中でもひととき「低い」半平屋の佇まい。それが「みはらしだいの家」です。低く抑えられたプロポーションと焼き杉の板張りの外観は、まるで昔からそこに在るように街並みに自然に溶け込み、どこか懐かしさを感じさせるようにしっかりと馴染み佇みます。

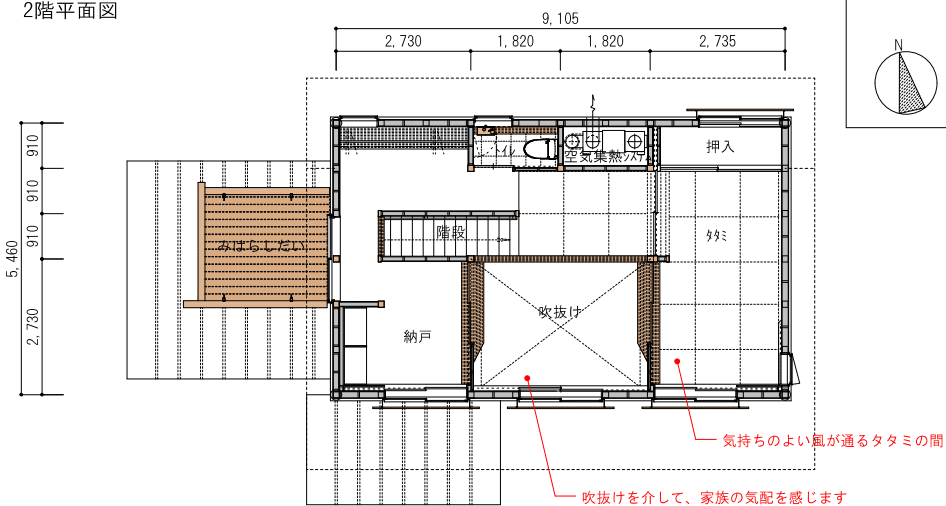
ご高齢の家族をお世話する2世帯の暮らしというのは、知らず知らずお互いにストレスを感じてしまうもの。「ストレスを感じず近すぎずに見守れる場」と「見守られながら安心して暮らせる場」という双方の思いを大切に考え、程よい距離感を大切にしています。

日常の動きは独りでも移動しやすいことに配慮。また介助が必要なときにもスムーズに行なえるような作業スペースは、自由度の高い「木」を手刻みする熟練の職人の手業から生まれました。

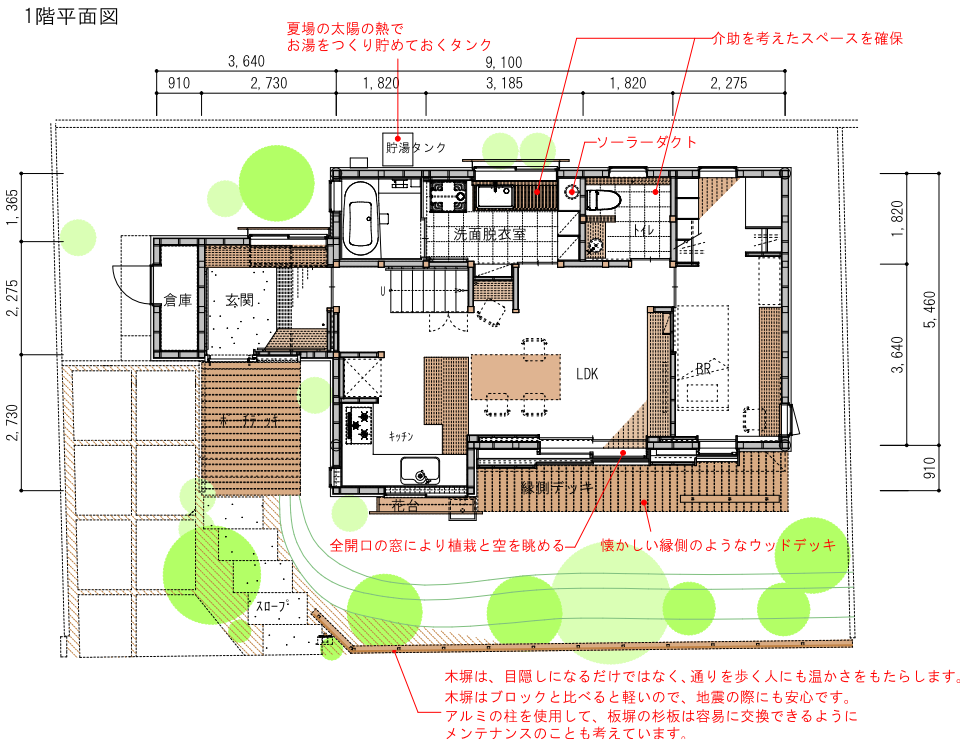
また「移動しやすい」だけでなく、逆に「体を動かす」ことも意識し、あえて適度な段差もつけています。それは、いつまでも元気でいて欲しいからこそこの配慮になります。

木のぬくもりを感じる、窓から緑が見えほっとひと息する、自然と皆が集まる居場所がある。木の空間で育むコミュニケーションは、家族のつながりが和やかで豊かになる介護世代の暮らし方の提案となりました。

## 2階平面図



## 1階平面図



## ○ 街の景色、半平屋

街の景色となるような暮らしを造っていかうというご家族の想いから始まった「みはらしだいの家」は長年住みつづけた街への恩返しでもあります。近頃、敷地内に面積いっぱい建てる家や、草の手入れが大変ということで土をコンクリートで塞いでしまう庭が増えてきている中で、周りにお住まいの方に配慮をして、できるだけ高さを抑えた建物は、半平屋というプロポーションとなり、周りに光を提供しています。



## ○ 杉に囲まれた暮らし

肌触りのよい杉に触れる、杉の香り、木目の温かさが、自然と心を豊かにし、皆が集まるリビングを日々和やかに包みます。



## ○ 介護を考えた設計

日常の動きは全ての動きが独りで行なえるように配慮。介助が必要なおときには作業スペースを設けることでスムーズな介助を行なえるようにしています。また、健康を考えて、スロープだけではなくあえて段差を適度につけてもいます。



## ○ 吹抜けを介したほどよい距離感

家族の居場所であるLDKは、家の中央にありお母様のいる場所。キッチンで作業しながら、洗濯物を干しながら、2階で集中して家計簿をつけながら。お互いを思いやった距離感での家族のコミュニケーションを大切にしています。



## ○ 多摩産材のしっかりとした構造

構造材は多摩産材の杉・桧。床と天井には徳島の杉板。アクセントになるカウンターには長良杉を使用しています。多摩産認証材を供給してくれる協力会社は、私たちが構造計算（許容応力度）によって耐震等級3で計算された内容通りの強度が守られていることを、工場にて強度試験と含水率をはかってから証明書とともに出荷をしてくれます。確かな材料の供給、そして職人の技術があるからこそ、ご家族が安心して安全に暮らせる家が完成したのです。家のデザインは、確かな性能と品質の上に成り立ちます。これが私たち岡庭建設のキャッチフレーズです。